プロジェクト憲章

作成日2022年７月19日

プロジェクト名：ヘルスケアのための運動フォーム改善システム開発プロジェクト

プロジェクトの目的・目標

・運動のフォーム解析の手間を減らし​より適正なフォームを身に着ける

・身体の関節角度の検出をし、​具体的な数値に基づくことで、​感覚的ではない定量的な​フォーム矯正をする​

・リアルタイムでの検出と音声ガイドをすることで、​鏡を使った目視でのフォームの確認、​スマホ等での撮影したも

 のの後からの確認といった​作業を減らし、運動中にフォーム調整を行う

ステークホルダー

仮想クライアントを「株式会社Builds」に設定し、エンドユーザーを20~30代の若年層とする

メンバーと役割

デザイン部門（資料作成・デザイン担当）

間渕　元康（PM・スライド作成）

松崎　憶人（書類作成・デザイン）

熊澤　竜彦（書類作成・デザイン）

システム部門（プログラミング担当）

椛澤　生吹（プログラム）

星井　京都（プログラム）

元吉　優太（プログラム）

プロジェクトの対象範囲

スコープ内

〇PC

〇スマートフォン

スコープ外

〇ガラケー

要求事項

プロジェクトの目標・目的に沿ったWebサービスを作成する

必要とされる機能をすべて実装させ、使用可能にする

想定する利用者に寄り添ったサービスを提供する

計画通りにプロジェクトを進行させる

調達物品

パソコン

コスト

人件費：PM工数196時間×10,000＝1960000

　　　　メンバー工数1,265時間×5000＝6325000

　　　　推定総額：8285000円

環境

* サービス提供側はWebブラウザを搭載する端末１台で動作します。​
* 提供環境はWebブラウザ上で動作するWebシステムです。​
* データベースはMySQLをサーバーはXAMPPのApacheサーバーとデータベースサーバー１台を利用します。​
* 認証機能の実装としてRubyのライブラリであるgemを使用します。​
* サービス提供側で利用するOSはWindows OSで、ブラウザはGoogle chromeとします

ユーザー環境

* Webブラウザを搭載した端末１台で動作します​
* Webカメラを搭載した端末

前提、制約条件

プロジェクトマネージャーを中心に作業を各部門で担当し、プロジェクトを進行させる

プログラミング部門3人デザイン部門2人プロジェクトマネージャー1人での作業

成功基準

各項目の作業を予定時間通りにこなしプロジェクトを進行させる

期日までにプロジェクトの成果物を完成させ、提出する

リスク

|  | 項目 | 影響度 | 対応分類 | 対応策 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | データの破損 | 大 | 回避 | データ管理の徹底 |
| 2 | メンバーとの音信不通 | 大 | 回避 | 複数の連絡手段の確保 |
| ３ | プロジェクト進行の遅延 | 中 | 受容 | スケジュール管理の徹底 |

スケジュール

| 6月 | 立ち上げ・情報収集 |
| --- | --- |
| 7月 | 夏季休暇の計画立案 |
| 8月 | システム開発 |
| 9月 | システム開発 |
| 10月 | システム開発 |
| 11月 | 成果物の試運転 |
| 12月 | 発表 |

プロジェクトマネージャーの氏名

間渕 元康：権限　　当プロジェクトの作業管理・進行上の指示